

令和4年度第65回福島県中学校体育大会 陸上競技大会要項

- 1 主催 福島県中学校体育連盟 福島県教育委員会 福島市教育委員会
福島県中学校長会 公益財団法人福島県スポーツ協会
一般財団法人福島陸上競技協会
- 2 後援 福島市
- 3 主管 県北地区中学校体育連盟
- 4 期日 令和4年7月5日（火）～7日（木）

5日（火）監督会 10：00～ とうほう・みんなのスタジアム
競技 12：30～
6日（水）競技 10：00～
7日（木）競技 10：00～
- 5 会場 とうほう・みんなのスタジアム（福島市佐原字神事場1番地）
- 6 参加資格 (1) 福島県中学校体育連盟に加盟の学校に在学し校長が参加を認めた者とする。
(2) 各支部予選会を通過した個人、およびリレーチームとする。
(3) 福島県中学校体育大会運営COVID-19感染拡大防止ガイドラインおよびマニュアルに従って参加することとする。
- 7 引率・監督 (1) 参加生徒の引率・監督は出場校の校長・教員（非常勤は除く）・部活動指導員とする。部活動指導員が引率・監督を務める場合は、所定の「部活動指導員確認書（校長承諾書）」に必要事項を記入し、参加申込と同時に提出する。なお、部活動指導員は当該校以外の引率及び依頼監督にはなれない。
(2) 本大会に出場するチーム・選手の引率、監督、部活動指導員は、運動部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。
- 8 参加制限 (1) 1校1種目1名（チーム）、1人1種目（リレーを除く）とする。
(2) 学年別種目は、当該学年に限る。共通種目には、全ての学年が出場できる。
(3) リレーは学校単独チームとする。リレー2種目を兼ねることはできない。
(4) 各地区基本枠5（名・チーム）とし、加盟生徒数の多い2地区にそれぞれ1プラスする。ただし、相双地区からの出場枠は3とし、残りの2枠は地区大会を開催している2地区にそれぞれ1プラスする。（地区最大枠6、各種目32名・32チーム）各支部の出場枠は、各地区で協議し決定する。
(5) 複数支部合同での代表参加については、加盟校の賛同のもとに合同の予選会を開催された場合に認める。地区大会を開催し、予選会とする場合においても同様とする。
- 9 競技規則 (1) 本大会は、2022年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則、並びに本大会要項および別紙「競技注意事項」による。

10 競技方法

(1) 競技種目

① 男子の部 (17種目)

種別	種目
1年	100m 1500m
2年	100m
3年	100m
1・2年	4×100mR (1・2年各2名でオーダーは自由)
2・3年	1500m
共通	200m 400m 800m 3000m 110mH 4×100mR 走高跳 棒高跳 走幅跳 砲丸投 四種競技 (110mH・砲丸投・走高跳・400m)

② 女子の部 (14種目)

種別	種目
1年	100m 1500m
2年	100m
3年	100m
1・2年	4×100mR (1・2年各2名でオーダーは自由)
2・3年	1500m
共通	200m 800m 100mH 4×100mR 走高跳 走幅跳 砲丸投 四種競技 (100mH・走高跳・砲丸投・200m)

- 男子110mH 高さ 91.4cm スタート～第1ハードル・・・13.72m
インターバル 9.14m 個数10台
- 女子100mH 高さ 76.2cm スタート～第1ハードル・・・13.00m
インターバル 8.00m 個数10台
- 砲丸の重さ 男子 5.000kg 女子2.721kg
ただし、共通男子四種競技は4.000kgを使用する。

- (2) トラック競技は、予選4組各組3着+4、準決勝2組各組3着+2、決勝8名で行う。ただし、リレーは予選4組各組1着+4、決勝8チームで行う。1500m以上は、予選2組各組6着+3、決勝15名で行う。
- (3) 800mは、スタートから第2曲走路の出口までをセパレートとし、その地点からオープンとする。
- (4) 四種競技は、2日間で行う。
- (5) 学校対抗形式をとり、得点計算は各種目1位8点、2位7点～8位1点とする。ただし、1位の学校が複数出た場合は上位入賞者の多い方を優勝とする。また、2位以下については、同順位とする。

11 アスリート ビブス 地区ごとに男女合わせての通し番号とし、番号は黒色とする。

地区	番号	地区	番号
県北	1～999	県中	2001～2999
県南	3001～3999	会津	4001～4999
いわき	5001～5999	相双	1001～1999

12 用器具

- (1) 用器具 (スターティングブロック、砲丸、バトン等) は主催者の準備したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールは個人で準備する。
- (2) スパイクのピンの長さは、9mm以下とする。ただし、走高跳については12mm以下とする。

13 表彰

- (1) 各種目の1位～3位には賞状とメダルを、4位～8位には賞状を授与する。
- (2) リレー種目の1位～3位のチームには、個人賞状も授与する。(4位以下のチームは学校用1枚とする。)
- (3) リレー種目の優勝チームには、優勝カップ (持ち回り) を授与する。
- (4) 学校対抗については、男女とも優勝校に優勝旗 (持ち回り) を授与する。また、男女総合、男子総合、女子総合の各6位までに賞状を授与する。

- 14 参加料 1名 1,500円とする。
- 15 参加申込 (1) 各学校は、参加申込書一式、参加料、参加記念章代、プログラム代・ランキング表代を地区中体連専門委員長へ一括申し込む。
 (2) 各地区中体連専門委員長は、各校からの申込書類ならびに現金を確認の上、県競技部事務局へ参加申込データと一緒に提出する。
 (3) 県競技部事務局は、抽選会時に申込書類ならびに現金を集約する。
- 16 宿泊 (1) 宿泊をしないと参加が困難な学校は、適切な危機管理対応（感染症・自然災害等）を確保するため、必ず大会事務局指定の業者に宿泊申込書をFAX送信して、申し込むこと。（指定外の宿泊施設の利用は認めない。）また、宿泊申込書の原本は参加申込書と一緒に当該競技の地区専門部委員長へ提出すること。
 (3) 大会役員の配宿は、大会事務局で行い、競技役員の配宿は、各競技事務局で行う。
 (4) 宿泊料金は、令和4年度福島県スポーツ団体標準宿泊料金による。
- 17 その他 (1) プログラムとランキング表は有料とし、プログラムは1冊1,000円、ランキング表は1冊600円で販売する。
 (2) 参加記念章は、1個350円で販売する。
 (3) 東北大会への出場については、本大会で各種目4位までの入賞者及びリレーチームが出場権を得る。
 (4) 全国大会への出場については、本大会または通信陸上競技大会で標準記録を突破した者が出場できる。ただし、リレーについては、本大会の共通リレーの上位2チームが全国大会への出場権を得る。
 (5) 個人種目の出場枠については通信大会において決定する。
 (6) 全国大会の種目及び標準記録は、次の通りである。

男	子	女	子
100m	11"20	100m	12"53
200m	22"75	200m	25"80
400m	51"60	800m	2'16"50
800m	2'00"50	1500m	4'38"00
1500m	4'08"50	100mH	14"80
3000m	8'57"00	4×100mR	
110mH	15"00	走高跳	1m60
4×100mR		走幅跳	5m45
走高跳	1m85	砲丸投	12m50
棒高跳	4m00	四種競技	2630点
走幅跳	6m55		
砲丸投	13m00		
四種競技	2500点		

- (7) 本大会は、第77回国民体育大会予選会を兼ねる。
 (8) 全国ジュニアオリンピック大会予選会及び同大会県選抜チームの選考会を兼ねる。
 (9) 大会期間中の負傷・疾病については、応急処置のみ実施する。大会参加者は、健康保険証を持参することが望ましい。

- 18 連絡先 県専門部委員長 二瓶 励(福島三中：024-534-3171)
 (開催地区専門部委員長)